

入れ歯の種類

	名称	耐久性	審美性	生体親和性	機能性	特徴	素材	料金
部分義歯	 クラスプ・バー付き アクリルデンチャー	△	×	△	○	金属製の「バネ」が付いたタイプの部分義歯です。歯ぐき付近にこの金属製のバネで固定します。	レジン + 金属	保険適用 (自己負担3割の場合) 約 5,000～ 13,000円
	 ノンクラスプ デンチャー フレキシブルタイプ	○	○	○	△	金属のバネ（クラスプ）を使わないタイプの部分義歯です。素材はポリエステル樹脂（ES）とナイロン系の樹脂（VP）から選べます。お口の中に入れても目立ちません。弾力性があり、割れにくい材質です。専用の入れ歯洗浄剤が必要です。	ポリエステル 樹脂 もしくは ナイロン系樹脂	(片額) 176,000円 (税込) (全額) 209,000円 (税込)
総義歯	 保険義歯	○	○	△	△	保険適用の総入れ歯は、プラスチックで制作するため、強度を持たせるために厚みなどで違和感を覚える場合がありますが、修理がしやすいといったメリットもあります。	レジン	保険適用 (自己負担3割の場合) 約 7,000円
	 GDS デンチャー (スタンダード)	◎	○	○	◎	『外れない・痛くない・ちゃんと噛める入れ歯』を作るために「顎の関節の動き」「筋肉の動き」「歯の位置」等を十分考慮して作製する機能性に優れた総義歯です。入れ歯が歯ぐきにフィットするので外れにくく、噛み易くなっています。また、精密重合システムを用いていますので、耐久性のある精度の高い義歯が仕上がります。	レジン	(片額) 352,000円 (税込)
	 GDS デンチャー (コンフォート)	○	○	◎	◎	硬い入れ歯の裏面を生体シリコーンというクッションで覆う、全く新しい入れ歯です。生体用シリコーンの弾性が、入れ歯でグッと噛んだときの歯ぐきにかかる負担をやわらげ、シリコーン特有の吸着力を発揮します。「痛い・噛めない・外れやすい」といった、従来の入れ歯の悩みを解消するとともに、歯ぐきにやさしい材料を使用しています。	レジン + シリコーン	(片額) 440,000円 (税込) 安心サポート付
	 金属床義歯 (コバルトプレート デンチャー)	◎	○	○	◎	保険義歯と比べ薄くて丈夫です。厚さは保険義歯の1/3まで薄くすることができ、しゃべりやすく、違和感も少ない義歯です。金属は熱伝導率が良いので、入れ歯を入れていても、料理の熱さや冷たさを感じることができます。	レジン + 金属	(片額) 418,000円 (税込)
	 金属床義歯 (チタンプレート デンチャー)	◎	○	◎	◎	コバルトプレートデンチャーよりもさらに比重が軽く、重さは一般的な金属床義歯の約1/4。薄くて丈夫な義歯で、重たい入れ歯でお悩みの方におすすめ。生体親和性が高く、インプラントや人工関節など体内に埋め込むことができる素材を用いています。	レジン + 金属	(片額) 550,000円 (税込)
 金属床義歯 (ゴールドプレート デンチャー)	◎	○	◎	◎	精密な加工をしやすい素材のため、適合性が良好。生体親和性も高い義歯です。腐食しづらいので金属の味も少なく、しかも金属床義歯の中で熱伝導が一番良いため、より食事を楽しむことができます。	レジン + 金属	(片額) 880,000円 (税込)	

※保険適用の料金は自己負担が3割の場合で計算しています。